

2020年度

後学期入学試験

一般入試

募集要項

機械専攻

電気・化学専攻

共同原子力専攻

自然科学専攻

建築・都市専攻

情報専攻

	2月実施入試	5月実施入試*	6月実施入試
願書受付期間	2020年 1月7日(火)～1月15日(水)	2020年 5月1日(金)～5月6日(水) 消印有効	2020年 5月22日(金)～5月26日(火) 消印有効
選考(試験)	2月25日(火)～2月27日(木)	5月13日(水)	6月26日(金)～6月27日(土)
合格発表	3月5日(木) 17:00	5月22日(金) 10:00	7月3日(金) 10:00
入学手続き期限	3月31日(火) 消印有効	6月12日(金) 消印有効	7月31日(金) 消印有効

※5月実施入試は特別選抜のみ実施。

設置概要

東京都市大学大学院学則第3条より――

総合理工学研究科は、理工学に関する高度な理論と実践力を修得し、学際的視野を持って、科学技術に立脚した社会貢献が出来る人材を養成することを目的とする。

教育の理念

地球温暖化に象徴される環境問題の深刻化、モノと情報のボーダレス化、人口集中と過疎化、さらにエネルギーやレアメタルに代表される資源の偏在と枯渇化など、私たちが地球規模で捉え解決すべき問題は、複合化、多様化しています。このような難局を乗り切り、持続可能な社会を切り拓くためには、人類の英知を集めて対処する必要があります。科学技術創造立国という国是が謳われている我が国において、学術研究の拠点である大学、とりわけ大学院への期待は従前にも増して高まっています。それゆえ、総合理工学研究科は「**技術者・研究者として社会の要請に応える**」を理念として人材育成に当たっています。社会が抱えている諸課題は、単一の専門分野からの取り組みだけでは解決は望めない場合が多く、知識を総合化し広い視野を持った技術者・研究者の育成が求められています。さらに、他分野の専門家と協力して領域を越えた連携により成果を出すためのコミュニケーション能力やマネジメント能力が一層強く求められるようになっていきます。

このような社会からの要請に応えるために、総合理工学研究科では専門知識と技術の着実な習得に加えて、他研究機関との連携大学院制度などを活用しながら、各自の研究課題が社会の中でもつ意義、或いは社会への影響力を判断できる能力を養えるよう配慮しています。また、社会人を対象としたプログラムも用意して、これまで以上に社会とのつながりを強く意識した教育研究を行います。このようなプログラムにより、専門領域の知識・技術を身につけるだけでなく、科学技術と社会との結びつきから課題の解決をする技を身につけられるものと確信しています。

教育の目標

大学院総合理工学研究科では、社会から求められている国際的に活躍できる技術者・研究者を育てるための教育に取り組み次のような能力を身に付けさせることを教育の目標としています。すなわち、**①理工学におけるリテラシーである情報技術と語学を含めたコミュニケーション能力、②プレゼンテーション能力、③専門知識に裏付けされた課題を解決できる能力**、を身に付けた技術者ならびに研究者の養成です。モノ作りに関わる教育プログラムを重視し、進歩のスピードを一段と速めている高度技術社会へ対応するための能力育成を重視しています。新しい知識や広範な情報とその利用技術の重要性が、日常生活のあらゆる面で増す一方です。そこで、情報を多面的に活用する医療や経営の分野、さらに環境やエネルギー、ナノテク、バイオなどの新規分野を取り込み、その充実も図っています。モノから知識へと転換しつつある世の中とはいえ、モノの価値やモノ作りの重要さが低下している訳ではありません。むしろ、環境に配慮し、持続的な発展を可能とする付加価値を付けたモノを世に送り出すために、理工学の知識と技術の価値は従来にも増して高まっています。

育成すべき人材

修士課程：自然科学、語学などの基礎となる科目や科学技術の基盤となる科目及び科学技術と社会の接点を理解するために必要な教養科目の習得が求められます。その上で、専門知識と技術が着実に身につけられるような教育プログラムが用意されています。そして、院生には専門を深化させるだけでなく、総合化することを求めています。各専攻では、修士課程において**専門知識を生かし、国際的に活躍できる語学力を養い、社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い応用力と実践力を身に付け、課題を解決できる能力**を有する技術者・研究者を「育成すべき人材」として目標としています。

博士後期課程：専門知識と技術を一層深化させると同時に、他大学や研究機関あるいは企業との共同研究などを通して、コミュニケーション能力やマネジメント能力を涵養しながら高度な研究能力が身に付けられる環境を整えています。各専攻では、博士後期課程修了後には、国内外の大学や研究機関、さらに企業の研究部門において、**先端的な知識と技術を駆使し、着実に課題を解決するとともに、新しい領域を開拓できる能力**を備えた技術者・研究者として活躍できる人材となることを目標とした指導を行い、自らが脱皮し成長できるような支援をしています。

今後への期待

学部における教育課程では、専門理工学基礎を身につけ、卒業研究ではそれを活用する経験を積んできたと思います。入学された大学院では、それらの知識と経験を活用して、さらに工夫を加えて「知恵」を磨くことが肝要です。このことを心がけて、上記目標に沿う人材として研鑽を重ね、人間として、技術者・研究者として成長することを期待しています。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

「最先端の研究領域にチャレンジし、社会への貢献と、未来の創造を目指す」

□修士課程

高度な専門知識を学ぶとともに国際的に活躍できる語学力を養うことで研究能力を高め、社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い応用力と実践力、さらに、課題を解決できる能力と社会に通用する人格を身に付けさせることが教育の目標です。このため、入学を希望する学生に求めている資質と能力は、以下の項目を具備していることです。

1. 総合理工学研究科の掲げる「教育の理念」と「教育の目標」へ共感
2. 理工系専門学力の基礎を有し、多面的な視点から論理的思考
3. 未知な研究分野への強い関心とチャレンジ精神
4. 技術者・研究者として必要な語学力と高度な倫理観

□博士後期課程

先端的な知識と技術を駆使し、着実に課題を解決するとともに、新しい領域を開拓できる能力を身に付けさせることを教育の目標にしています。このため、入学を希望する学生に求めている資質と能力は、修士課程において、上記の4項目を十分に身に付けた上で、以下の4項目を具備していることです。

1. 未開の知見を得るための研究活動に必要な幅広い専門学力
2. 自立した研究者になるために、課題解決を目指す研究遂行の持続力
3. 社会における指導的な役割を果たすために必要な実行力
4. グローバルに活躍できるコミュニケーション能力の基礎

教育課程の編成方針（カリキュラム・ポリシー）

総合理工学研究科において、修士課程は、高い専門学力と語学力・情報活用能力を活かし、社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い応用力と実践力を身に付け、課題を解決できる技術者・研究者の養成を目的とし、また博士後期課程は、先端的な知識と技術を駆使し社会ニーズを意識しながら、着実に課題を解決するとともに新しい領域を開拓できる研究能力を備えた人材を養成することを目的とし、この目的達成のため、以下の基本方針に基づいてカリキュラムを編成している。

□修士課程

1. 理工学に関する専門知識と実践力を国際社会の発展に役立てられるように、総合教養科目群及び総合基礎科目群を編成し、英語の語学能力や情報活用能力の他、国際感覚が身に付く科目を編成している。
2. 社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い理工学に関する高度な専門知識と実践力が身に付くように、各専攻において専門基礎科目群と専門科目群を編成し、専門基礎科目群の科目履修により専門的な基礎知識を、また、専門科目群の科目履修により実践的な力が身に付くように、編成している。
3. 国際社会における理工学に関する課題を自らが発見し解決できる能力が身に付くように、各専攻において実習と特別研究を編成している。

□博士後期課程

1. 理工学に関する新たな知見をまとめて学問として専門知識を体系化できる能力が身に付くように、各専攻において講究を編成している。
2. 他研究・開発機関との技術交流を通じて、先端的な知識と技術を駆使し社会ニーズを意識しながら、着実に課題を解決するとともに新しい領域を開拓できる研究能力が身に付くように、各専攻において特殊研究を編成し、他大学や企業との共同研究を推進している。

学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

総合理工学研究科において、修士課程は、高い専門学力と語学力・情報活用能力を活かし、社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い応用力と実践力を身に付け、課題を解決できる技術者・研究者の養成を目的とし、また博士後期課程は、先端的な知識と技術を駆使し社会ニーズを意識しながら、着実に課題を解決するとともに新しい領域を開拓できる研究能力を備えた人材を養成することを目的とし、この目的達成のための科目を履修し、所定の能力を身に付けた者に、以下の基本方針に基づいて学位を授与している。

□修士課程

1. 理工学に関するより高度な専門知識と実践力を、国際社会発展のために役立てることのできる語学及び情報活用能力を身に付けている
2. 社会構造の変化に迅速に対応できる幅広い理工学に関する高度な専門知識を有し、それを応用できる実践力を身に付けている
3. 国際社会における理工学に関する課題を自らが発見し、解決できる能力を身に付けている

□博士後期課程

1. 理工学に関する新たな研究によって得られた知見をまとめあげ、より深化した学問として専門知識を体系化できる能力を身に付けている
2. 他研究・開発機関との技術交流を通じて、先端的な知識と技術を駆使し社会ニーズを意識しながら、着実に課題を解決するとともに新しい領域を開拓できる研究能力を身に付けている

指導教授（予定）

2020年9月予定

専攻	領域	職位	指導教授
機械	機械工学	教授	眞保 良吉 ○
		教授	大上 浩
		教授	三田 修三 ○
		教授	白木 尚人
		教授	藤間 卓也
		教授	榎 徹雄
		教授	三原 雄司
		准教授	伊東 明美
		准教授	亀山 雄高
		准教授	岸本 喜直
		准教授	小林 志好
		准教授	櫻井 俊彰
		准教授	佐藤 秀明
		准教授	杉町 敏之
		准教授	西部 光一
	准教授	富士原 民雄	
	准教授	丸山 恵史	
	機械システム工学	教授	田中 康寛
		教授	秋田 貢一
		教授	今福 宗行
		教授	島野 健仁郎
		教授	野中 謙一郎
		教授	三宅 弘晃
		教授	宮坂 明宏
		准教授	熊谷 正芳
		准教授	佐藤 大祐
		准教授	関口 和真
		准教授	永野 秀明
		准教授	渡邊 力夫
		講師	白鳥 英
講師		土方 規実雄	
電気・化学		電気電子工学	教授
	教授		岩尾 徹
	教授		江原 由泰 ○
	教授		澤野 憲太郎
	教授		野平 博司
	教授		藤田 博之
	教授		三谷 祐一郎
	准教授		石川 亮佑
	准教授		鈴木 憲史
	准教授		鳥居 肅
	准教授		星 裕介
	講師		瀬戸 謙修
	教授		森 晃
	教授		京相 雅樹
	教授		桐生 昭吾
	教授	早坂 信哉	
	教授	平田 孝道	
	教授	和多田 雅哉	
	准教授	島谷 祐一	
	准教授	桃沢 愛	
	准教授	横山 草介	
	講師	小林 千尋	
	教授	宗像 文男	
	教授	金澤 昭彦	
	応用化学	教授	黒岩 崇
		教授	高橋 政志
		准教授	岩村 武
		准教授	江場 宏美
		准教授	高津 淑人
		准教授	小林 亮太
准教授		塩月 雅士	

専攻	領域	職位	指導教授
共同原子力	共同原子力	教授	高木 直行
		教授	大鳥 靖樹
		教授	河原林 順
		教授	佐藤 勇
		教授	鈴木 徹
		准教授	羽倉 尚人
		准教授	松浦 治明
		准教授	牟田 仁
		教授	吉田 真史
		教授	飯島 正徳
		教授	須藤 誠一
		教授	畑上 到
		教授	福田 達哉
		准教授	中島 保寿
		准教授	西村 太樹
自然科学	自然科学	准教授	服部 新
		准教授	堀越 篤史
		講師	門多 顕司
		教授	岩下 剛
		教授	小見 康夫
		教授	小林 茂雄
		教授	近藤 靖史
		教授	手塚 貴晴
		教授	西村 功
		教授	福島 加津也
		教授	堀場 弘
		准教授	大村 哲矢
		准教授	佐藤 幸恵
		准教授	焦 瑜
		建築・都市	建築学
教授	伊藤 和也		
教授	白旗 弘実		
教授	末政 直晃		
教授	丸山 收		
教授	吉田 郁政		
准教授	秋山 祐樹		
准教授	栗原 哲彦		
准教授	五艘 隆志		
准教授	関屋 英彦		
准教授	中村 隆司		
准教授	三上 貴仁		
教授	佐和橋 衛		
教授	荒井 秀一		
情報	都市工学		
		教授	岡野 好伸
		教授	傘 昊
		教授	柴田 随道
		教授	田口 亮
		教授	中野 秀洋
		教授	向井 信彦
		教授	兪 明連
		教授	横山 孝典
		准教授	張 英夏
		准教授	林 正博
		准教授	平野 拓一
		講師	新家 稔央
		教授	渡部 和雄 ○
		情報	情報工学
教授	神野 健哉		
教授	田中 宏和		
教授	田村 慶信		
教授	包 躍		
教授	葉村 真樹		
教授	森 博彦		

※教育上の配慮から日程によっては学生募集しない指導教授もあります。

○：2022年3月に退職

指導教授（予定）

2020年9月予定

専攻	領域	職位	指導教授		
機械	機械工学	教授	眞保 良吉 ○		
		教授	大上 浩 ◎		
		教授	三田 修三 ○		
		教授	白木 尚人		
		教授	藤間 卓也		
		教授	槇 徹雄 △		
		教授	三原 雄司		
		准教授	伊東 明美		
		准教授	亀山 雄高		
		准教授	岸本 喜直		
		准教授	佐藤 秀明		
		准教授	杉町 敏之		
		准教授	西部 光一		
		准教授	丸山 恵史		
		機械システム工学	教授	田中 康寛	
			教授	秋田 貢一	
	教授		今福 宗行 ◎		
	教授		島野 健仁郎		
	教授		野中 謙一郎		
	教授		三宅 弘晃		
	教授		宮坂 明宏		
	准教授		熊谷 正芳		
	准教授		関口 和真		
	准教授		永野 秀明		
	講師		白鳥 英		
	講師		土方 規実雄		
	電気・化学		電気電子工学	教授	中島 達人
				教授	岩尾 徹
				教授	江原 由泰 ○
				教授	澤野 憲太郎
		教授		野平 博司	
		教授		藤田 博之	
教授		三谷 祐一郎			
准教授		石川 亮佑			
准教授		鈴木 憲吏			
准教授		鳥居 肅			
准教授		星 裕介			
講師		瀬戸 謙修			
医用工学		教授	森 晃		
		教授	京相 雅樹		
		教授	桐生 昭吾		
		教授	早坂 信哉		
		教授	平田 孝道		
		教授	和多田 雅哉		
応用化学		教授	宗像 文男		
		教授	金澤 昭彦		
		教授	黒岩 崇		
		教授	高橋 政志		
		准教授	岩村 武		
		准教授	江場 宏美		
	准教授	高津 淑人			
	准教授	小林 亮太			
准教授	塩月 雅士				

専攻	領域	職位	指導教授		
共同原子力	共同原子力	教授	高木 直行		
		教授	大鳥 靖樹		
		教授	河原林 順		
		教授	佐藤 勇		
		教授	鈴木 徹		
		准教授	羽倉 尚人		
		准教授	牟田 仁		
		自然科学	自然科学	教授	須藤 誠一
				教授	畑上 到
				教授	福田 達哉
				准教授	中島 保寿
				准教授	西村 太樹
准教授	服部 新				
建築・都市	建築学	教授	岩下 剛		
		教授	小見 康夫		
		教授	小林 茂雄		
		教授	近藤 靖史 △		
		教授	西村 功 ◎		
		准教授	大村 哲矢		
	都市工学	准教授	佐藤 幸恵		
		准教授	焦 瑜		
		教授	長岡 裕		
		教授	伊藤 和也		
		教授	白旗 弘実		
		教授	末政 直晃		
情報	情報工学	教授	丸山 收 △		
		教授	吉田 郁政		
		准教授	秋山 祐樹		
		准教授	五艘 隆志		
		准教授	関屋 英彦		
		准教授	三上 貴仁		
		教授	佐和橋 衛		
		教授	荒井 秀一		
		教授	大屋 英稔		
		教授	岡野 好伸		
		教授	傘 昊		
		教授	柴田 随道		
	教授	田口 亮			
	教授	中野 秀洋			
	教授	向井 信彦			
	教授	愈 明連			
	教授	横山 孝典 △			
	情報システム	准教授	張 英夏		
准教授		林 正博			
准教授		平野 拓一			
教授		渡部 和雄 ○			
教授		塩本 公平			
教授		神野 健哉			
教授	田中 宏和				
教授	田村 慶信				
教授	包 躍				
教授	森 博彦				

※教育上の配慮から日程によっては学生募集しない指導教授もいます。

○：2022年3月に退職

◎：2023年3月に退職

△：2024年3月に退職

募集人員・試験種別

1. 募集人員

研究科	専攻	募集人員	
		修士課程	博士後期課程
総合理工学研究科	機械専攻	60名	8名
	電気・化学専攻	66名	8名
	共同原子力専攻	15名	4名
	自然科学専攻	15名	2名
	建築・都市専攻	54名	8名
	情報専攻	66名	8名

※募集人員は、推薦試験（A日程）および一般試験（B・C日程）を含む

2. 入学試験概要

	後学期入学試験		
	2月実施入試	6月実施入試	5月実施入試
修士課程	一般選抜 学力試験・面接試験・出願書類により選考します。 【選考方法】①学力試験 ②面接試験 ③出願書類に関する審査 出願時に十分な実務経験（2年以上）を有している者について、 社会人選抜 出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考します。 【選考方法】①出願書類に関する審査 ②面接試験（口述試験を含む） 特別選抜 専攻する分野に関連して、特別な素養に有している者に対し、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考します。なお、本学卒業見込みの者及び卒業生は適用対象外とし、留学生については必要に応じて学力試験を課します。 【選考方法】①出願書類に関する審査 ②面接試験（口述試験を含む） ※一ヶ月以上前に本人からの事前申請を要します。志望専攻の審査をもって適用可否を判断します。		
博士後期課程	一般選抜 出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験により選考します。 【選考方法】①出願書類に関する審査 ②面接試験（口述試験を含む） 出願時に十分な実務経験（2年以上）を有している者について、 社会人選抜 出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考します。 【選考方法】①出願書類に関する審査 ②面接試験（口述試験を含む）		
出願期間	2020年 1月 7日（火）～1月15日（水）	2020年 5月22日（金）～5月26日（火） 消印有効	2020年 5月 1日（金）～5月 6日（水） 消印有効
試験日	2月25日（火）～2月27日（木）	6月26日（金）～6月27日（土）	5月13日（水）
合格発表	3月 5日（木） 10:00	7月 3日（金） 10:00	5月22日（金） 10:00
手続期限	3月31日（火） 消印有効	7月31日（金） 消印有効	6月12日（金） 消印有効
試験場	本学世田谷キャンパス		

※2月実施入試は、2020年度C日程入試と同日実施。

※5月実施入試は、2021年度A日程入試と同日実施で、特別選抜のみ実施。

※国外からの志願者等は、別の指示をする場合があります。

※別途指示の上、webを利用して面接試験を実施する場合があります。

※5月実施入試において、「JICA 2020年秋受入長期研修プログラム」による志願者については、合格発表および手続期限をJICA経由で別途指示します。

◎出願資格

修士課程

本大学院の修士課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 大学を卒業した者（2020年9月卒業見込み者を含む）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者（2020年9月修了見込み者を含む）
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者*

博士後期課程

本大学院の博士後期課程に入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者（2020年9月修了見込み者を含む）
- (2) 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（2020年9月修了見込み者を含む）
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) その他本大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者*

※予め該当の可否を判断するため、出願開始日から40日以上前までにお問い合わせください。

◎選考方法

修士課程

試験日程	試験時間	試験科目
2月25日（火）／ 6月26日（金）	12:30～17:00	専門科目② 建築設計 （建築・都市専攻 建築学領域のみ）
2月26日（水）／ 6月27日（土）	9:00～10:30	基礎科目（数学・物理学・化学・設計製図）
	10:50～12:20	外国語（英語）※ ¹
	13:30～16:30	専門科目※ ² ※ ³
2月27日（木）	13:00～（日本時間）	面接試験※ ⁴
6月27日（土）	18:00～（日本時間）	

※¹ 外国語科目受験の際、各自が用意する英和辞書（留学生の受験者は英中辞書等、母国語の英語辞書を使用可）の使用を認めます。ただし、電子辞書の使用は認めません。

※² 専門科目受験の際、各自が用意する関数電卓の使用を認めます。なお、基礎科目では使用できません。

※³ 専門科目②で建築設計を選択した場合、試験時間は13:30～15:00となります。

※⁴ 別途指示の上、webを利用して面接試験を実施する場合があります。

博士後期課程

試験日程	試験時間	試験科目
2月27日（木）	13:00～（日本時間）	面接試験（口述試験を含む）
6月27日（土）	18:00～（日本時間）	

※国外からの志願者等については、試験時間を変更する場合があります。

※別途指示の上、webを利用して面接試験を実施する場合があります。

4. 社会人選抜 出願資格・選考方法

◎出願資格

修士課程

出願時に十分な実務経験（2年以上）を有し、かつ「一般選抜」の出願資格を充たしている者。

博士後期課程

出願時に十分な実務経験（2年以上）を有し、かつ「一般選抜」の出願資格を充たしている者。

◎選考方法

修士課程・博士後期課程

試験日程	試験時間	試験科目
2月27日（木）	13:00～（日本時間）	面接試験（口述試験を含む）
6月27日（土）	18:00～（日本時間）	

※国外からの志願者等については、試験時間を変更する場合があります。

※別途指示の上、webを利用して面接試験を実施する場合があります。

*授業料の減免制度があります（最短修業年限のみ適用）。志願者の希望に基づき本学による審査の結果、博士後期課程では授業料年額の90%を、修士課程では授業料年額の50%を減免する場合があります。

5. 特別選抜 出願資格・選考方法

◎出願資格

修士課程

「一般選抜」の出願資格を充たし、かつ専攻する分野に関連して特別な素養を有している者

例：関連する科目の大学での成績が極めて優秀である。関連する分野ですぐれた研究業績がある等

※本学卒業見込みの者および卒業生は適用対象外です。主に、他大学からの進学者や外国人留学生が対象になります。

※一ヶ月以上前に本人からの事前申請を要し、志望専攻の審査をもって適用可否を判断します。

◎選考方法

修士課程

試験日程	試験時間	試験科目
2月27日（木）	13:00～（日本時間）	面接試験（口述試験を含む）
5月13日（水）	13:30～（日本時間）	
6月27日（土）	18:00～（日本時間）	

※国外からの志願者等については、試験時間を変更する場合があります。

※別途指示の上、webを利用して面接試験を実施する場合があります。

試験科目・注意事項 【修士課程 一般選抜】

専攻	領域	日時 2月実施入試:2/26(水) 6月実施入試:6/27(土)	科目		
機械専攻	機械工学	9:00~10:30	基礎科目	数学・物理学・化学	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30	専門科目	◆専門科目①：工業力学 力のつりあいとモーメントのつりあい、トラス、分布力、重心および慣性モーメント、剛体の並進と回転運動、剛体の力学、摩擦力および力学的エネルギーの保存則から出題する。 ◆専門科目②： 別掲の指導教授科目を解くこと。	
	システム工学	9:00~10:30	基礎科目	数学・物理学・化学	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30	専門科目	◆専門科目①：工業力学・電気物理 工業力学 ：機械力学の基礎である剛体の力学（静力学と動力学）について出題する。特に、力学とベクトル解析、力と力のモーメント、重心、剛体のつりあい、摩擦と仕事、仮想仕事の原理、剛体の運動学、剛体の並進と回転の運動方程式、ダランベールの原理、力学的エネルギーと運動量の保存則から出題する。 電気物理 ：電磁気学（クーロンの法則、電界、静電容量、磁界、ローレンツ力、電磁誘導）の分野から出題する。 ◆専門科目②： 計2科目を解くこと。1科目めは、別掲の指導教授科目一覧から、志願者の希望する指導教授より指定されている科目を必ず選択すること。2科目めは、指導教授科目一覧中の科目かCプログラミングから任意の1科目を選択すること。ただし、1科目めと2科目めに同一科目を選択することはできない。なお、Cプログラミングは、制御構文や関数、配列、ポインタなどといった基礎的な文法事項と、それらを用いたアルゴリズムの問題を出題する。	
電気・化学専攻	電気電子工学	9:00~10:30	基礎科目	数学	必須
		10:50~12:20	外国語科目	英語	
		13:30~16:30	専門科目	◆専門科目①：電気基礎 電気回路（直流回路、交流回路、三相交流回路、相互誘導とブリッジ回路、ひずみ波、直流回路と交流回路の過渡現象、二端子対回路）と電磁気学（クーロンの法則、ガウスの法則、電界、静電容量、磁界、電磁誘導、インダクタンス）の分野からの選択問題とする。 ◆専門科目②： 別掲の指導教授科目を解くこと。	
	医用工学	9:00~10:30	基礎科目	数学・物理学・化学	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30	専門科目	◆専門科目①：電気基礎・医用器械基礎・医学基礎から選択解答する。 電気基礎 ：電気回路（直流回路、交流回路、三相交流回路、相互誘導とブリッジ回路、ひずみ波、直流回路と交流回路の過渡現象、二端子対回路）と電磁気学（クーロンの法則、ガウスの法則、電界、静電容量、磁界、電磁誘導、インダクタンス）の分野からの選択問題とする。 医用器械基礎 ：基礎力学、機構学、医用材料から出題する。 医学基礎 ：人体解剖学、生理学（心臓、脳・神経、感覚、運動）、基礎生物学（生命現象、細胞、遺伝子、免疫）から出題する。 ◆専門科目②： 別掲の指導教授科目を解くこと。	

専攻	領域	日時 2月実施入試:2/26(水) 6月実施入試:6/27(土)	科目		
電気・化学専攻	応用化学	9:00~10:30	基礎科目	数学・物理学・化学	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30	専門科目	<p>◆専門科目①: 固体化学・電気化学・界面化学・高分子化学・生物化学の5問から2問を選択し、解くこと。 固体化学: 結晶化学(含む格子欠陥)、固相反応の熱力学、拡散現象、材料物性(主に電気伝導現象、半導体物性、誘電体現象) 電気化学: 電解質溶液の性質、電気化学平衡、電極反応論、電池と電気分解 界面化学: 表面張力と界面現象、界面活性剤と分子集合体、吸着現象、固体表面の状態 高分子化学: 高分子の構造・物性、高分子合成、高分子反応、高分子材料の機能性 生物化学: 生体分子の構造と特徴[糖質、タンパク質、核酸、脂質]、酵素、遺伝情報の流れ、生体膜 ◆専門科目②: 化学熱力学・量子力学・物理化学・有機化学・無機化学の5問のうち、別掲の指導教授科目1問を含めて計3問を解くこと。</p>	
共同原子力専攻	共同原子力	9:00~10:30	基礎科目	数学・物理学・化学	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30	専門科目	<p>◆専門科目①: 原子力・放射線基礎 「原子力工学(3問)」と「放射能・放射線(2問)」から任意の4問を選択解答すること。 ◆専門科目②: 別掲の指導教授科目を解くこと。</p>	
自然科学専攻	自然科学	9:00~10:30	基礎科目	数学・物理学・化学	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30	専門科目	<p>◆専門科目①: 数学、物理学、化学、生物学、地学の5問から受験時に2問を選択すること。なお、数学・物理学・化学は基礎科目のものとは問題が異なるため、注意すること。 数学: 解析学、代数学、幾何学 物理学: 量子力学 化学: 物理化学、有機化学、無機化学 生物学: 動物学、植物学、微生物学 地学: 地球科学、宇宙科学 ◆専門科目②: 別掲の指導教授科目を選択すること。</p>	
建築・都市専攻	建築学	2月実施入試:2/25(火) 6月実施入試:6/26(金) 12:30~17:00	専門科目②	建築設計	指導教授科目より建築設計を選択し、受験する。なお、2/25(火)あるいは6/26(金)が試験日であるため、注意すること。
		9:00~10:30	基礎科目	数学・設計製図	予め左記科目から1科目選択
		10:50~12:20	外国語科目	英語	必須
		13:30~16:30 専門科目②で建築設計を選択した場合 13:30~15:00	専門科目	<p>◆専門科目①: 専門総合科目 建築計画・建築設計・住環境計画から6題、建築構造学から6題、建築材料工法から6題、建築環境学・建築設備学から6題、計24題出題する。なお、専門科目②で建築設計を選択する場合は、専門科目②は別日受験となるため、専門科目①のみの試験時間となるので注意すること。 ◆専門科目②: 別掲の指導教授科目を選択すること。建築設計の受験者は、2/25(火)あるいは6/26(金)が試験日であるため、注意すること。</p>	

専攻	領域	日時 2月実施入試:2/26(水) 6月実施入試:6/27(土)	科目		
建築・都市専攻	都市工学	9:00～10:30	基礎科目	数学	必須
		10:50～12:20	外国語科目	英語	
		13:30～16:30	専門科目	◆専門科目①：専門総合科目 水理学、コンクリート工学、構造力学、地盤工学、都市計画学の5問から受験時に2問を選択し、解答。 ◆専門科目②： 別掲の指導教授科目を解くこと。	
情報専攻	情報工学	9:00～10:30	基礎科目	数学	必須
		10:50～12:20	外国語科目	英語	
		13:30～16:30	専門科目	◆専門科目①：電気基礎・コンピュータ概論・基礎確率統計から選択解答する。 電気基礎 ：電気回路（直流回路、交流回路、三相交流回路、相互誘導とブリッジ回路、ひずみ波、直流回路と交流回路の過渡現象、二端子対回路）と電磁気学（クーロンの法則、ガウスの法則、電界、静電容量、磁界、電磁誘導、インダクタンス）の分野からの選択問題とする。 コンピュータ概論 ：「稲垣著、理工系のコンピュータ基礎学、コロナ社」より出題。 基礎確率統計 ：データの代表値（平均値、分散、標準偏差、相関係数、回帰直線）、確率分布と期待値・分散（正規分布、一様分布、指数分布、t-分布、カイ二乗分布、二項分布、ポアソン分布）、母平均・母分散の区間推定と仮説検定から出題。 ◆専門科目②： 別掲の指導教授科目を解くこと。	
システム情報工学	システム情報工学	9:00～10:30	基礎科目	数学	必須
		10:50～12:20	外国語科目	英語	
		13:30～16:30	専門科目	◆専門科目①：コンピュータ概論・基礎確率統計から選択解答する。 コンピュータ概論 ：「稲垣著、理工系のコンピュータ基礎学、コロナ社」より出題。 基礎確率統計 ：データの代表値（平均値、分散、標準偏差、相関係数、回帰直線）、確率分布と期待値・分散（正規分布、一様分布、指数分布、t-分布、カイ二乗分布、二項分布、ポアソン分布）、母平均・母分散の区間推定と仮説検定から出題。 ◆専門科目②： 別掲の指導教授科目を解くこと。	

注意事項等

1. 出願時に、基礎科目・外国語科目を記入してください。
2. 外国語科目受験の際、各自が用意する英和辞書(留学生の受験者は英中辞書等、母国語の英語辞書を使用可)の使用を認めます。ただし、電子辞書の使用は認めません。
3. 専門科目受験の際、各自が用意する関数電卓の使用を認めます。なお、基礎科目では使用できません。
4. 学力考査で未受験の科目がある場合には、面接試験の受験を認めません。
5. 一般選抜入学試験における基準達成による科目試験免除について
 入学試験が不合格であっても、外国語科目(英語)・基礎科目において基準点を満たした場合は、次回科目試験の受験を免除する場合があります。
 以上の詳細については、出願前までに世田谷キャンパス教育支援センターまでお問い合わせ下さい。

試験科目一覧において、指導教授科目の受験を指示されている専攻・領域については、指示に従って当日は受験すること。指示されたとおりに指導教授科目を解かなかった場合には、0点となる。

専攻	領域	指導教授	科目名	出題範囲
機械	機械工学	小林 志好	材料力学	①物体の引張・圧縮変形における応力とひずみ、②はりの曲げにおける応力とたわみ、③モールの応力円から出題する。
		岸本 喜直		
		榎 徹雄	機械力学	剛体における機構学を含む動力学および多質点ばね系の振動工学から出題する。
		櫻井 俊彰		
		杉町 俊之		
		大上 浩	流れ学	流体の物理的性質、流体の静力学、流体運動の基礎、流体の測定法、運動量の理論、流体摩擦、管路の流れ、次元解析と相似則および物体まわりの流れから出題する。
		富士原 民雄		
		西部 光一		
		三田 修三		
		三原 雄司	熱力学	温度と熱量、熱力学第一法則、熱力学第二法則、理想気体およびガスサイクルから数問を出題する。
		伊東 明美		
		白木 尚人	機械材料学	材料の結晶構造と結合、材料の強さと変形、平衡状態図、材料の製造と加工、拡散と高温変形、相変態と熱処理、材料試験法、破壊力学、材料分析手法および機能性材料から出題する。
	藤間 卓也			
	丸山 恵史			
	眞保 良吉			
	佐藤 秀明	表面加工学	生産加工学全般、表面処理、環境保全および廃棄物処理から出題する。	
	亀山 雄高			
	機械システム工学	野中 謙一郎	制御工学	システムのステップ応答・周波数応答、ボード線図、安定性、ブロック線図
		関口 和真		
		今福 宗行	材料力学・機械材料	材料の引張、圧縮、ねじれ、たわみに関する総合問題、材料の構造、組織に関する総合問題
		宮坂 明宏		
		秋田 貢一		
		熊谷 正芳		
		田中 康寛	電気電子回路	直流回路(オームの法則、キルヒホッフの法則、重ね合わせの理、鳳-テブナンの定理)、交流回路(フェーザ表示、フェーザ図、複素数表示、インピーダンス、瞬時値、電力)、電子回路の基礎(ダイオード、トランジスタ、オペアンプ、ロジック回路)
三宅 弘晃				
土方 規実雄				
島野 健仁郎				
渡邊 力夫		熱・流体力学	熱力学分野:熱力学第一・第二法則、状態変化、サイクル、エントロピー、エクセルギー 流体力学分野:静水圧平衡、連続の式、ベルヌーイの式、運動量保存の法則、損失、物体の受ける流体力	
永野 秀明				
白鳥 英				
佐藤 大祐	機械力学・振動工学	平面閉ループ機構・マニピュレータ機構の運動学・動力学および1自由度・3自由度振動系動力学から出題する。		
電気・化学	電気電子工学	澤野 憲太郎	ナノエレクトロニクス工学	電子物理基礎や半導体デバイスに関する範囲から出題する。
		野平 博司		
		藤田 博之		
		三谷 祐一郎		
		星 裕介		
		石川 亮佑		
		鳥居 肅	電気機器工学	電気機器・パワーエレクトロニクスに関する基礎的な分野、および古典制御理論・現代制御理論に関する基礎的な分野から数問の選択問題を出題する。
		鈴木 憲史		
	中島 達人	電力システム工学	電力システム工学の基礎用語、基幹系統送電線の潮流計算、再生可能エネルギー電源が接続された配電線の電圧計算、再生可能エネルギー用系統連系インバータの基礎知識から出題する。	
	江原 由泰	プラズマ応用工学	放電工学、プラズマ工学、高電圧工学、大電流工学、発変電工学、電子計測に関する基礎的な分野から数問の選択問題を出題する。	
	岩尾 徹			
	瀬戸 謙修	回路デザイン	計算機とソフトウェアを活用した回路設計に関する範囲から出題する。	
	森 晃	臨床器械工学	「臨床医療技術」、「生活支援・福祉技術」の分野およびその周辺技術の分野に関する範囲から出題する。	
	和多田 雅哉			
	桐生 昭吾	医用電子工学	「音響工学の基礎」、「共振現象および共振回路」、「電磁誘導」から出題する。	
	京相 雅樹	生体計測工学	「脳神経生理学」、「電気生理学」、「生体計測」、「電子回路」の分野から出題する。	
	島谷 祐一			
	平田 孝道	生体マイクロ・ナノデバイス工学	「計測工学」、「生化学」の分野から出題する。	
	桃沢 愛	医用材料工学	「バイオマテリアル」とその周辺の分野から出題する。	
	早坂 信哉	臨床医学研究概論	「臨床研究デザイン」「臨床医学研究のデータ解析法」「疫学」の分野から出題する。	
	横山 草介			
	小林 千尋	細胞・組織工学	「生化学」とその周辺分野から出題する。	
	応用化学	高津 淑人	化学熱力学	気体の性質、各種の熱力学関数(エンタルピー、エントロピー、ギブズエネルギー)、熱化学方程式、化学平衡、相平衡から出題する。
		江場 宏美	量子力学	光の粒子性と物質の波動性、電子の軌道とエネルギー準位、波動関数とシュレディンガー方程式
高橋 政志		物理化学	分子運動論[ボルツマン分布、マクスウェルの速さの分布、気体分子の衝突、完全気体の輸送物性]、化学反応論[反応速度式、反応機構、素反応と複合反応、反応速度の温度依存性]、化学結合論[分子軌道法、混成軌道、共有結合の極性、イオン結合とイオン結晶]から出題する。	
宗像 文男				
黒岩 崇				
金澤 昭彦		有機化学	有機化合物の命名法、有機化合物の構造、有機化合物の物性、有機反応機構から出題する。	
岩村 武				
塩月 雅士		無機化学	多電子原子の構造、共有結合とイオン結合、結晶構造と安定性、元素各論から出題する。	
小林 亮太				
共同原子力	高木 直行	原子力システム工学	原子核反応、原子炉物理、原子力プラント工学に関する範囲	
	河原林 順	放射線計測工学	放射線計測工学・加速器工学・放射線基礎に関する範囲	
	羽倉 尚人	放射線応用工学	放射化学、核燃料サイクル工学、原子力・放射線に関連する化学に関する範囲	
	松浦 治明			
	大島 靖樹	原子力材料・耐震工学	原子炉廃止措置、放射性廃棄物処分、核燃料工学、原子力耐震工学、振動工学・構造工学に関する範囲	
	佐藤 勇			
	鈴木 徹	原子力安全工学	原子力安全、伝熱流動、確率論的リスク評価及びシビアアクシデントに関する範囲	
傘田 仁				

専攻	領域	指導教授	科目名	出題範囲
自然科学	自然科学	飯島 正徳	高分子科学	高分子の立体構造、熱的性質、力学的性質に関する範囲
		須藤 誠一	溶液科学	水溶液の力学的、電磁気学的、光学的、熱力学的性質に関する範囲
		畑上 到	解析学	微分方程式、数値解析、確率論、統計学に関する範囲
		福田 達哉	進化生物学	生物の進化、遺伝、分類、生態に関する範囲
		吉田 真史	分析化学	化学物質の抽出、分離、機器分析に関する範囲
		中島 保寿	地球科学	岩石学、テクニクス、層序学、古生物学に関する範囲
		西村 太樹	原子核物理学	原子核、放射線、加速器に関する範囲
		服部 新	代数学・幾何学	集合と位相、群・環・体・加群に関する範囲
		堀越 篤史	理論物理学	量子力学、統計力学、相対性理論に関する範囲
		門多 顕司	宇宙科学	天文学と宇宙線に関する範囲
建築・都市	建築学	手塚 貴晴	建築設計	優れた建築の特徴、成り立ち、理論に関する範囲
		堀場 弘		
		福島 加津也		
		西村 功	建築構造	材料力学および不静定構造力学に関する範囲
		大村 哲矢		
		焦 瑜	建築材料工法	建築構法・建築材料・建築生産に関する範囲
		小見 康夫		
	佐藤 幸恵			
	岩下 剛	建築環境設備	主に温熱環境・空気環境・光環境・視環境・空調設備・換気設備・衛生設備・照明設備に関する範囲	
	小林 茂雄			
	近藤 靖史			
	都市工学	白旗 弘美	構造安全工学	材料力学とはり、トラスおよびラーメンに関して、静定構造および不静定構造力学に関する範囲
		丸山 收		
		関屋 英彦	災害軽減工学	各種力学に関する基本事項ならびに耐震工学等の災害軽減に関する範囲
		吉田 郁政		
		栗原 哲彦		
		末政 直晃	地盤環境工学	地盤工学(主に基本的性質、締固め、透水、圧縮、圧密、土のせん断、液状化、土圧、支持力、斜面崩壊)およびその周辺分野に関する範囲
伊藤 和也				
長岡 裕		水圏環境工学	下記の2分野のうち1分野を選択すること。 A:水環境工学(水域における水質変換過程、水環境に関する法規制、水環境保全対策など)、水道工学、下水道工学に関する範囲 B:海岸工学(海の波の基礎的性質、海浜過程、海岸保全施設、沿岸防災)に関する範囲	
三上 貴仁				
五艘 隆志		建設マネジメント	建設マネジメント(主にインフラマネジメント、プロジェクトマネジメント、調達問題、公共政策、建設市場、建設産業および建設企業、設計・施工技術に関するマネジメント)およびその周辺分野に関する範囲	
中村 隆司	都市計画・交通計画	都市計画、都市交通計画および交通工学に関する範囲		
秋山 祐樹				
情報	情報工学	大屋 英稔	制御システム工学	動的システムに対する古典制御理論と現代制御理論の基礎から出題する。
		田口 亮	応用数理	情報理論、システム解析から出題する。
		新家 稔央	電子計算機工学	コンピュータシステム、コンピュータアーキテクチャ、およびその周辺の分野から数問の選択問題を出題する。
		中野 秀洋		
		横山 孝典	計算機ソフトウェア工学	オペレーティングシステムの基本技術:CPUの仮想化(プロセス、スケジューリング、排他制御)およびメモリ管理(主記憶管理、2次記憶管理)から出題する。
		兪 明連		
		向井 信彦	画像工学	「村上著、画像処理工学、東京電機大学出版局」および「向井著、基礎からのコンピュータグラフィックス、日新出版」から出題する。
		張 英夏		
		荒井 秀一	知識情報工学	パターン認識、自然言語処理、人工知能の分野から数問を出題する。
		佐和橋 衛	通信システム工学①	通信工学、デジタル変調方式、マルチアクセスから出題する。
	岡野 好伸	通信システム工学②	電磁波理論、電波工学から出題する。	
	林 正博	通信システム工学③	通信信頼性工学、信頼性に関するデータ処理、通信信頼性対策から出題する。	
	平野 拓一	通信システム工学④	信号処理、無線回路の分野から出題する。	
	システム情報工学	柴田 随道	集積化システム工学	回路理論、電子回路、集積回路工学の分野から数問を出題する。
		傘 昊		
		田村 慶信	経営システム工学	経営管理学、応用統計工学の2分野から2問ずつ出題する。ただし、第1問と第2問の解答する分野が異なってもかまわない。
		渡部 和雄		
森 博彦		ヒューマン・メディア工学	吉田真編「ヒューマンマシンインタフェースのデザイン」共立出版、第1章。岡田謙一他著「ヒューマンコンピュータインタラクション」オーム社、第1章、第2章。	
塩本 公平		ネットワーク情報工学	TCP/IP技術を中心としたコンピュータネットワークに関する基本知識、および、通信ネットワークの技術とその応用に関する最近の動向と知識。	
神野 健哉				
包 躍	ビジョンシステム工学	投影変換、透視変換、2値化法、メディアンフィルタ、パタンマッチング(谷口慶治編「画像処理工学基礎編」共立出版)および、輪郭抽出、ラベリング、カラー画像の輝度・彩度・色相(井上誠喜など著「C言語で学ぶ実験画像処理」オーム社)。		
葉村 真樹	サービスデザイン工学	情報分野におけるプロダクト・サービスデザインの基礎的な概念や方法論について出題する。参考図書:アンディ・ボレイン『サービスデザイン ユーザーエクスペリエンスから事業戦略をデザインする』(丸善出版)、マーク・スティックドーン『THIS IS SERVICE DESIGN THINKING.』(ピー・エヌ・エヌ新社)		
田中 宏和	脳情報工学	神経科学と情報科学の融合分野である脳情報工学から、最適化理論や統計推定理論に基づく生物の数理モデル化に関する問題を出題する。 田中著「計算論的神経科学-脳の運動制御・感覚処理機構の理論的理解へ-」(森北出版)		

出願手続き・受験上の注意事項等

1. 出願承諾確認

※別表「指導教授（予定）」参照

出願者は出願の前に志望する指導教授と必ず協議し、事前にメールで指導教授の出願承諾を受けて下さい。

※別表「指導教授（予定）」に○印、◎印または△印のある指導教授は、在学期間中に交代する可能性があります。
当該指導教授を志望する場合は、その後に研究指導を引き継ぐ予定の教員の承諾も要します。

2. 検定料

35,000 円 入学検定料は検定料決済システムにより払い込んで下さい。払込期間は出願期間に準じます。

URL <http://www.guide.52school.com/guidance/pay-tcu-g/>

3. 出願書類一覧

下表「対象」欄●印が提出を必要とする書類です。課程・試験種別によって異なりますので注意して下さい。

※各種証明書は出願日から起算して、3ヶ月前以内に発行されたものに限りません。

	対象		所定 用紙	出願手続き書類	注 意 事 項
	修士課程	博士後期課程			
1	●	●	A票	入学志願票	志望する専攻名を記載し、志望する指導教授の出願承諾確認印を受けてください。(5月・6月実施入試では下記1'を確認印に代える)
1'	●	●	—	出願承諾確認メール	(5月・6月実施入試のみ) 志望する指導教授から出願承諾を受けたことが分かるメールをA4サイズで印刷し、同封してください。
2	●	●	B票	入学検定料	35,000 円 入学検定料は検定料決済システムにより払い込み、システムから出力した出納証明書をB表に貼り付けて下さい。なお、払込期間は出願期間に準じます。 URL http://www.guide.52school.com/guidance/pay-tcu-g/
3	●	●		副票（写真票）	出願前3ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽（たて4cm×よこ3cm）のものをB票の所定欄に貼付してください。
4	●	●	C票	志望理由書	志望理由を具体的に記載して下さい。(様式におさまる範囲で作成すること)
5	●	●	—	成績証明書	修士課程 志願者 大学学部の「成績証明書」 博士後期課程 志願者 大学学部の「成績証明書」 および大学院修士課程の「成績証明書」 ※高等専門学校を卒業の方は、その成績証明書を提出して下さい。 <外国人留学生は、後項「6.外国人留学生の注意事項」を参照>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 本学工学部・知識工学部・工学研究科出身者については、修士・博士後期とも提出不要 </div>				
6	●	●	—	卒業証明書・ 卒業見込証明書	修士課程 志願者 大学学部の「卒業証明書（卒業・学位取得証明書）」 または「卒業見込証明書」 博士後期課程 志願者 大学院修士課程または博士前期課程の「修了証明書」 または「修了見込証明書」 <外国人留学生は、次項「6.外国人留学生の注意事項」を参照>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 本学工学部・知識工学部・工学研究科出身者については、修士・博士後期とも提出不要 </div>				
7	● [社会人選抜] 志願者対象	● [社会人選抜] 志願者対象	D票	業務経歴書	D票（本人記入）E票（本人を熟知する者記入）のうち、どちらかを提出して下さい。※E票は厳封して提出 また、所定用紙の各項目を含んでいれば任意様式による提出でも可とします。
8	● [社会人選抜] 志願者対象	● [社会人選抜] 志願者対象	E票	推薦書	※減免制度を希望される方は、「希望する」の口欄にレ点を入れて下さい。

	対象		所定 用紙	出願手続き書類	注 意 事 項
	修士課程	博士後期課程			
9	● [特別選抜] 志願者対象	—	F 票	特別選抜 適用申請書	特別選抜の適用を申請する場合には、原則として出願の1ヶ月前に、志望する専攻の指導教授に申請の上、出願時に「特別選抜適用申請書」が提出できるよう手配すること。
10	—	●	G 票	修士課程等における研究概要と博士後期課程における研究計画	* 社会人選抜志願者の修士課程等における研究概要欄は、直近の研究概要を記載しても構いません。
11	● 外国人留学生 対象	● 外国人留学生 対象	H 票	外国人留学生 状況調査票	国籍や在留資格等の確認のためにパスポートの必要ページ（氏名・顔写真・サイン等記載ページ）または、在留カード両面のコピーを添付すること。
12	●	●	I 票	受験票宛名ラベル	「受験票」や「合格通知書」など受験関係書類の送付先宛名を明記すること。
13	● 対象者のみ		—	認定試験合格証明書 TOEIC 公式認定証	外国語科目および基礎科目の受験免除を希望する方は提出して下さい（コピー不可）。
14	● 中国の大学を 卒業した志願者	● 中国の大学を 卒業した志願者	—	卒業証明書および成績証明書の「認証書」	中国の大学を卒業した志願者は提出して下さい。 <次項「6.外国人留学生の注意事項」を参照>

- 注意 1：入学検定料は右記のサイト (<http://www.guide.52school.com/guidance/pay-tcu-g/>) にアクセスし、登録後、最寄りのコンビニエンスストア（セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・ミニストップ・デイリーヤマザキ・セイコーマート）、ペイジー（「Pay-easy」マークのある全国のゆうちょ銀行や各銀行等のATM）または、クレジットカードで納入してください。入学検定料の納入の際には入学検定料の他に決済手数料（990円）がかかります。
※金融機関の窓口での取り扱いはいりません。また、領収書の発行はいたしません。
※一旦納入した入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しませんので、充分注意してください。
※家族や知人が代理で手続きをする場合も、必ず志願者本人の情報を入力してください。
- 注意 2：出願時に健康診断書の提出は必要ありませんが、身体の障がい等により、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に教育支援センターまでその旨を連絡して下さい。
- 注意 3：海外の大学出身者で、提出書類の原本が一部しかない場合でも、必ず原本の確認をしますので、その場合には出願前に教育支援センターへ申し出てください。
- 注意 4：一度提出された書類は原則返却しませんが、返却を希望する学生は事前に相談してください。
- 注意 5：その他不明な点は、世田谷キャンパス 教育支援センター 大学院入試 担当に問い合わせして下さい。
TEL 03-5707-0104（代表）

4. TOEIC試験による「英語」の科目試験免除について 修士課程のみ

TOEICテスト [公開テスト、IPテスト（団体特別受験制度）のいずれでも可] で本学大学院の定める基準以上のスコアを有している者は、「英語」の科目試験の受験を免除する場合があります。基準点については、必ず出願前に教育支援センターにお問い合わせ下さい。ただし、入学試験実施時の前々年度の4月1日以降のスコアのみを有効とします。

公開テスト

（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会が、年10回（1・3・4・5・6・7・9・10・11・12月）全国80都市で実施する試験のことを指します。申し込みは、インターネットもしくはコンビニエンスストアにて行っています。詳細は、下記TOEIC運営委員会のWebページを参照してください。

IPテスト

団体特別受験制度（IP:Institutional Program）

主催者は、上記と同じで、団体（企業・学校など）で法人格のあるものが、所属者を対象に、実施する試験（10名以上の一括受験に限る）のことを指します。また、テスト結果の有効性は通常公開テストと同等であると判断されます。なお本学では各キャンパスで年に数回実施しています。実施や申込み方法等の詳細については、別途掲示にてお知らせしますので、各自確認してください。

TOEIC試験の受験についての問合せ先

（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC試験運営センター

〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-14-2 山王グラウンドビル

TEL：03-5521-6033（土・日・祝日を除く 10:00～17:00）

FAX：03-3581-4783 URL：<http://www.toeic.or.jp>

5. 科目認定試験による科目試験免除について

本学の各学部の新入生、研究生、卒業生で、科目認定試験を受験し合格点に達した者は、当該科目の合格を認定し「認定試験合格証明書」を交付します。この「認定試験合格証明書」を大学院総合理工学研究科一般選抜入学試験受験の際に提出することにより外国語科目（英語）及び基礎科目（数学、物理学、化学）の受験を免除する場合があります。

6. 外国人留学生の注意事項

出願書類：5	成績証明書
出願書類：6	卒業証明書・卒業見込証明書

以下の記載事項は日本の大学を卒業（修了）又は卒業（修了）見込の者は除く

- ▷「卒業（修了）証明書」は、本学出身者については、修士・博士後期課程とも不要です。
- ▷自国の最終出身校の「成績証明書」「卒業（修了）証明書」を必ず提出してください。
- ▷「成績証明書」「卒業（修了）証明書」は、原本またはcertified true copy（原本から正しく複製されたものであることを卒業（修了）した学校や大使館等公的機関によって証明されたコピー）を提出してください。なお、中国の大学を卒業した志願者は、「認証書」を提出してください。「認証書」の日本国内での問い合わせ先は、CHSI 中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構 (<http://www.chsi.jp/index.html>) です。
- ▷母国語で記載のものを必ず提出してください。日本語・英語・中国語以外で記載されている場合には、日本語または英語の訳文をつけてください。訳文については大使館などの公的機関で証明を受けてください。
- ▷「卒業（修了）証明書」のほかに、「卒業（修了）証書（Diploma）」コピーも可能な限り提出してください。
- ▷証明書の氏名・生年月日等がパスポートの記載と異なる場合は、大使館等の公的機関で同一人物であることの証明を受けてください。
- ▷証明書は、出願日から起算して、3ヶ月前以内に発行されたものに限りです。但し、原本が1部しかない場合はこの限りではありません。

7. 願書受付期間および場所 窓口受付または郵送

日程名称	2月実施入試	6月実施入試	5月実施入試
窓 口	▷受付期間 2020年1月7日（火） ～1月15日（水）	窓口での受付はありません (郵送のみ)	
	▷受付時間 平日：9:00～17:00 土曜：9:00～11:30 12:30～13:00		
	▷受付場所 教育支援センター(世田谷キャンパス)		
郵 送	▷受付期間 (必着) 2020年1月7日（火） ～1月15日（水） ※社会人選抜のみ郵送受付	▷受付期間 (消印有効) 2020年5月22日（金） ～5月26日（火）	▷受付期間 (消印有効) 2020年5月1日（金） ～5月6日（水）
	送 付 先 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 東京都市大学 教育支援センター 大学院入試 担当 ※原則として簡易書留・速達で郵送すること。なお、やむを得ない事情により郵便局への来訪が困難な場合は、必ずレターパックプラス（520円・赤色）でポストへ投函すること（レターパックライトは不可）。		

<注意事項>

- 出願書類に不備や不足があるものは、受け付けることができませんので、注意してください。
- 出願手続き後の提出書類の内容変更および返還ならびに入学検定料の払い戻しは認めません。
- 出願後、受験票が未着の場合は、直ちに教育支援センターまで連絡して下さい。
- 国外からの志願者等は、別の指示をする場合があります。

8. 受験上の注意事項

(1) 試験開始時刻について

志願者は、試験日時および試験科目を確認して下さい。別の日時、場所を指示する場合がありますので注意して下さい。

(2) 試験室について

試験当日、学内掲示等で各自確認して下さい。

(3) 受験上の注意

- ① 試験開始15分前までには必ず試験室に入室して自分の受験番号の席に着き、受験票を机の上に置いて試験監督者の指示を待って下さい。
- ② 試験開始後20分以上の遅刻入室はできません。やむを得ない事情で20分以上遅刻する場合は教育支援センターに申し出て下さい。
- ③ 受験科目は「入学志願票」の通りとし、受験科目の変更は認めません。
- ④ 筆記用具は黒鉛筆（シャープペン）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削りのほか事前に指示のあったもののみとします。
- ⑤ 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとき不正行為とみなすことがあります。
- ⑥ 全ての問題用紙、解答用紙および計算用紙には、受験番号のみ記入し、氏名は記入しないこと。
- ⑦ 試験室内での飲食は禁止します。

(4) 面接試験について

- ① 面接試験開始時刻の15分前には、面接控室に入室して下さい。集合時刻に遅刻した者は欠席扱いとし、受験を認めません。
※公共交通機関の遅延で間に合わない場合は、必ず教育支援センター大学院入試担当まで連絡を入れて下さい。
- ② 面接控室から面接室へは、本学係員の指示に従って移動し、面接審査を終えた者は、面接控室へは戻れません。
- ③ 受験生控室での読書は認めますが、私語や飲食、他の受験生に迷惑となる行為は禁じます。また、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの電子機器の利用も禁じます。これらに違反した場合には、不正行為とみなしますのでご注意ください。
- ④ webによる面接試験を実施する場合については、各領域より試験当日までに面接の詳細を連絡します。

(5) 国外からの志願者等について

別の指示をする場合があります。

9. その他の注意事項

(1) 試験日当日に不測の事態が生じた場合について

状況に応じて別途措置を講ずる場合は、以下のウェブページに掲載するので、各自で確認してください。

https://websrv.tcu.ac.jp/tcu_web_v3/

(2) 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患した場合について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治療していない者は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還は行いません。

10. 過去問題の閲覧について

過去問題については、学内のネットワークを通じて以下のホームページで閲覧出来ます。

学外の方は、閲覧出来ませんので、直接世田谷キャンパス教育支援センターにお問い合わせ下さい。

過去問題の閲覧

東京都市大学 <http://www.tcu.ac.jp/> ホーム>在学生の方へ>世田谷キャンパスサイト>関連組織・研究所>図書館>WEB利用サービス>総合理工学研究科入試問題

本学では5～10月の期間、節電の必要性及び地球温暖化防止対策と省エネルギーの一環として、室内のエアコンの設定温度を控えめにし、ノーネクタイで執務しています。6月実施の入試当日については、教職員・受験生とも「ノーネクタイ・ノー上着」で実施することとしますので、ご理解ご協力をお願いします。

合格発表・入学手続き 等

1. 合格発表

	2月実施入試	5月実施入試	6月実施入試
合格発表	3月5日(木) 17:00	5月22日(金) 10:00	7月3日(金) 10:00
手続期限	3月31日(火) 消印有効	6月12日(金) 消印有効	7月31日(金) 消印有効

本学内に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人に合格通知書および入学手続書類を速達で郵送します。

2. 入学手続き

- (1) 合格者は、本学入学のためには、期限内に入学手続書類を提出し、入学手続金を納入しなければなりません。
- (2) 入学手続の期限は上表の通りですが、やむを得ぬ理由がある場合、6月実施入試の合格者のみ入学金を除く納入金について、最長2020年8月21日(金)まで納入延期を認めます。
- (3) 入学手続書類の提出と入学手続金の納入はすべて郵送・振込によるものとし、詳細は合格通知の際に同封する「大学院入学手続要項」を参照して下さい。
- (4) 納入金について(参考:2020年度入学者納入金)

区分 納入金	入学年度(後期分)	入学の翌年度以降	修了予定年度 (前期分)
入 学 金	240,000		
授 業 料	595,000	1,190,000 分納希望の場合 前期 595,000 後期 595,000	595,000
合 計	835,000	1,190,000	595,000

- ①入学の翌年度以降に授業料の分納を希望する場合、後期分は10月20日までを期限として分納することができます。詳細は当該年度の始めに改めて通知します。
 - ②本学からの進学者(2020年9月 本学卒業見込者及び修了見込者)は「東京都市大学大学院研究科奨学規程」に基づき入学金240,000円が免除されます。また授業料についても、同規程の適用により免除されることがあります。
 - ③いったん納入した入学金および授業料は、理由のいかんにかかわらず返還しませんので充分ご注意ください。
 - ④私費外国人留学生(在留資格「留学」を有する者、または取得見込みの者)に対し、特別な経済的支援として減免措置の実施を予定しております。減免措置を希望する場合は入学後、所定の手続きを行ってください。なお、初年度の減免措置は後期分の授業料にて行います。減免措置を希望する場合であっても上記の分割納入の金額にて入学手続きを行ってください。
- (5) 社会人選抜により入学した者については、授業料が減免される場合があります。
 - (6) 研究助手制度について
博士後期課程の学生を対象とした研究助手の制度(定員あり)があります。研究助手は、指導教授の指示に従い、研究及び教育の補助を行うもので、月手当金が支給されます。
 - (7) 入学辞退について
入学手続完了後にやむを得ぬ理由により入学辞退を希望し、原則として2020年9月18日(金)17:00までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く納入金は返還します。詳細は合格通知の際に同封する「大学院入学手続要項」を参照して下さい。

3. 奨学金制度

- 本学からの進学者（2020年9月 本学卒業見込者及び修了見込者）の入学金は全員免除されます。
- 博士後期課程（社会人選抜を除く）については、学力・人物ともに優秀な学生に学費の免除を行う奨学制度があります（下表①参照）。他に下表②～⑤のような給費奨学制度があります。また、貸与奨学金の代表例として、日本学生支援機構奨学金があり、無利子貸与（第一種奨学金）と有利子貸与（第二種奨学金）の二種類があります。

[2019年度実績]

① 大学院奨学生（本学独自）

課程	奨学生数	学費免除額	備考
博士後期	9名	授業料全額	内部進学 一般選抜のみ

② 社会人選抜入学者授業料減免（本学独自）

課程	学年	奨学生数	減免額	備考
博士後期	D5	14名	授業料の90%	社会人選抜で 減免希望者のみ
	D4	19名		
	D3	17名		
修士	M2	18名	授業料半額	
	M1	4名		

③ 今泉奨学金（本学独自）

課程	学年	奨学生数	年 額	備考
博士後期	D5	0名	—	内部進学者のみ
	D4	0名	—	
	D3	0名	—	
修士	M2	3名	238,000円	
	M1	3名	238,000円	

④ 佐野利秋国際交流奨学金（本学独自）

課程	学年	奨学生数	年 額	備考
博士後期 修士 (留学生)	全学年	4名	238,000円(授業料の20% 分)	アジア地域からの私費外国人留学生。(ただし、都市工学専攻に在籍する者を最優先とする。)

⑤ 各種奨学生（以下は給費奨学金実績の一部）

団体名称	支給月額/年額	奨学生数	条 件
(公財)日揮・実吉奨学会	300,000円 (年額)	日本人 4名	理工系所属の学生で、人物・学力ともに優れ、かつ、健康であって、経済的に本会の奨学金の給与が必要であると認められること。原則として年齢30歳未満であること。
ロータリー米山記念奨学金	140,000円 (月額)	留学生 1名	45歳未満の者で学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する姿勢や関心を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者
私費外国人留学生 学習奨励費	48,000円 (月額)	留学生 2名	学業・人物ともに優れ、かつ留学生生活上経済的援助が必要であると認められる者
(一財)守谷育英会	120,000円 (月額)	留学生 2名	東京都内の大学に在学また東京都内に居住で学業・人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者
共立メンテナンス奨学基金 奨学金	60,000円 (月額)	留学生 1名	日本以外のアジア国籍をもつ私費留学生であり、人物、学問ともに優秀であり、志操堅実かつ健康である者

4. 受験生の個人情報の取扱いについて

手続書類を通じて収集した住所・氏名等の個人情報は、大学からの連絡・資料等の発送や統計的集計に利用いたします。それらの業務を超えた利用はありません。また、個人情報は、厳重に管理いたします。

5. 課程を修了するために必要な修得単位数

修士課程

実習	4 単位	※ 1
特別研究	8 単位	
小 計	1 2 単位	※ 2
授業科目	1 8 単位以上	※ 3
合 計	3 0 単位以上	

※共同原力専攻の場合は、※1 演習：2 単位、※2：1 0 単位、※3：2 0 単位

博士後期課程

講究	8 単位
研究	1 6 単位
合 計	2 4 単位

6. 入学試験結果の情報開示について

本学で実施する大学院一般入学試験の結果について、受験生の個人情報に限定して、受験生本人に開示することとします。開示を希望する受験生は、以下に定める請求手続を行ってください。入学試験結果を受領する方法は2通りあり「a. 本学窓口にて受領する方法」と「b. 郵送により受領する方法」があります。試験結果を受領する方法は請求手続により異なりますので下記(3)②ウ)によりご確認ください。

- (1) 個人情報の開示対象者 本学で実施する大学院一般入学試験を受験し不合格となった受験生本人を対象とする。
- (2) 請求手続により本人に開示する個人情報 受験した試験科目がある場合その得点、面接の結果。
- (3) 個人情報の請求方法

①請求期間 2020年9月21日～9月30日(消印有効)

②請求手続 以下の書類を同封の上、簡易書留にて、本学教育支援センター宛に送付してください。

ア) 次の事項を記載した「入学試験結果開示申請書(様式自由)」

受験番号(複数の場合は連記して下さい)、氏名、生年月日、出身大学名、連絡先(住所及び電話番号)

イ) 本学発行の受験票のコピー

複数の入学試験結果を請求する場合は、該当する入試方式の受験票のコピー(A4用紙)を同封してください。

ウ) a. 本学窓口での受領希望者

「郵便はがき」1枚……請求者の住所、氏名を宛名書きしたもの。請求手続き完了者に受領日程をお知らせするための通知と「入試結果受領書」を兼ねる「郵便はがき」です。私製はがきの場合は63円の郵便切手を貼ったものを同封して下さい。住所(郵便番号含む)、氏名は必ず記載してください。

b. 郵送による受領希望者(郵送料440円)

「A4サイズ封筒」1枚……請求者の住所、氏名を宛名書きし、440円分の切手を貼付したもの。請求手続き完了者に入学試験結果を郵送するための「封筒」です。A4サイズの封筒に住所(郵便番号含む)、氏名を宛名書きし、切手を貼り2つ折りにして同封してください。

- (4) 個人情報の受領方法

①受領期間 2020年11月1日～11月30日(日曜、祝祭日は除く)

本学窓口での受領を希望する請求手続完了者には、上記期間内の受領予定日を、前記(3)②ウ) a. の「郵便はがき」でお知らせいたします。また、郵送による受領希望者には、前記(3)②ウ) b. の「A4サイズ封筒」にて郵送いたします(上記受領期間内に郵送します)。

②受領場所 本学教育支援センター(世田谷キャンパス)。原則として本人へ手渡します。

③窓口での受領の際に必要なもの…該当する入試方式の「受験票(本証)」と本人であることを証明できるもの(学生証、健康保険証等)



東京都市大学

世田谷キャンパス 教育支援センター

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1

TEL : 03-5707-0104

FAX : 03-5707-2200

メール : sckyoumu@tcu.ac.jp
